

血管炎は、血管の壁に炎症が生じ、全身症状を起こして、臓器にダメージを与える病気です。診断が難しく、別の診療科を経て、膠原病などを専門とする診療科につながるケースも多いそうです。症状や治療法について専門家に尋ねました。

血管炎

KARTE カルテ Q & A



旗智さおり医師

血管炎は、全身の血管壁に炎症を起こす病気の総称で、25種類以上の病気が含まれます。今回は感染症や悪性腫瘍、他の膠

す。例えば、心臓の大血管炎では胸痛、皮膚の中血管炎では赤から紫色の押すと痛む皮下のしこり、末梢神経の小血管炎では手足のしびれ、という具合です。脳、耳、目、肺、腎、消化管など、あらゆる臓器で起きる可能性があります。診断は血液や尿の検査、超音

重篤な合併症が起るので、早期の診断、治療が望まれます。また病気が落ち着いた後は、再燃しないよう長期に維持療法を行う必要があります。
(兵庫県医師会、旗智さおり
II神戸市、神鋼記念病院膠原病
リウマチ科長)
◇第1、3、4日曜に掲載します。

重篤化防ぐため早期治療を

原病などが原因で起こる「続発性血管炎」を除く、「原発性血管炎」について説明します。共通する全身症状として、発熱や食欲低下、体重減少、関節痛、筋痛などがあります。炎症が起きている血管の太さや臓器によって現れる症状が異なります。

波や心電図などの直接体を調べる生理検査、患部の一部を採取する組織生検などの精密検査から、10種類以上の病気に分類します。血管炎の種類や重症度に応じた治療方針を決めます。治療は薬物治療が中心です。過剰な免疫反応を幅広く抑える質に結合して症状や進行を抑えます。具体的には大血管炎で「トシリズマブ」、小血管炎の一部で「リツキシマブ」「メボリスマブ」「アバコパン」が用いられる場合があります。強い炎症が長引くと、血管が狭まる、詰まる、破れるなどし、